

平成29年度 いでの里 事業報告

平成29年度は、入所系事業所が前年度を上回り、在宅系事業所が前年度を下回る稼働結果となりました。また、年度目標に対しては、グループホーム・ヘルパーステーションが目標を達成しましたが、それ以外の事業所は目標をクリアすることができませんでした。このような稼働状況のため、収入面では非常に厳しい1年となりました。

特養は、入院された方、退所された方も前々年度、前年度より減少しましたが、12月以降、長期入院されるケースが集中したことや、ショートステイについては、全国的なインフルエンザ流行の影響を受けるなどにより、稼働率が伸びませんでした。

ケアハウスについては、前年度から引き続き低稼働状況からのスタートでしたが、様々なツールを駆使し、新規のご利用者様獲得に取り組んだ結果、1月には満室の状態まで回復することができました。

一方、在宅系のデイサービス・ヘルパーステーションについては、できるだけ多くの町民の方に利用していただくためには、という問題意識を各事業所が常に共有し、居宅介護支援事業所と密接な連携を行うことにより利用者数の拡大を図りましたが、着地点としては少し不十分な結果となりました。

なお、制度改正により昨年4月から実施している、介護予防・日常生活支援総合事業については、当初目標には達しませんでした。徐々にご利用者数を伸ばしてきており、次年度に繋げられる内容となりました。

このような状況の中、いでの里としては、在宅系から入所系まで幅広く多種の事業部門を有するという特長を生かし、それぞれの事業所がカバーし合いながら、有機的に連携することで、より良い相乗効果を生み出すという考えを維持し、次年度にしっかり繋げ、前年度以上の成果を残せるよう運営してまいります。

I 事業運営

1. 納涼祭

7月23日、毎年恒例の納涼祭を実施しました。多くのボランティアの皆様、井手町社会福祉協議会の皆様、ご家族様の協力を得て、地域の方々も含め、前年より多い約250人の参加者に盆踊りや屋台、花火を楽しんでいただき、家族交流・地域交流を大いに深める場となりました。とりわけ、今回初めて内容に組み入れた「ひょっとこ踊り」で会場は大変盛り上がりしました。

2. 敬老祝賀会

9月17日、多くのご来賓をお迎えし、ご利用者様やご家族様、職員一同で盛大な敬老祝賀会を開催いたしました。井手町からは88歳を迎えられた方に、井手町社会福祉協議会からは77歳を迎えられた方にお祝品が贈られ、施設からもご利用者様全員にお祝品を贈らせていただきました。たくさんの祝辞もいただき、式典後はご利用者様とご家族様との祝宴が催され、素晴らしい一日となりました。

3. 運動会

10月22日、特養秋の大運動会を開催いたしました。今回は、ご利用者様のご健康を配慮し、施設内で実施しました。借り物リレー・玉入れでは一生懸命汗を流され、ご家族様と職員合同の椅子取りゲームでは笑顔一杯となり、楽しいひとときを過ごされました。

また、デイサービスでも、室内で10月11日・12日に開催し、筒送り競争、職員競技の水くみ競争などを楽しまれ、笑いの絶えないひとときとなりました。

4. 井手町文化祭

11月5日・6日、井手町文化祭に今年度も参加しました。特養、デイサービス、グループホーム、ケアハウスの皆様による素晴らしい作品が披露されました。また、外出レクリエーションとして会場にも赴き、地域の皆さんとの交流も楽しんでいただきました。

5. 家族会交流会等

11月19日、特養家族会交流会が開催されました。京都府保健環境研究所から講師をお招きし、「感染症に感染しない（させない）ためには」をテーマに、手洗い講習を交えた講演会を行いました。また、交流会後は昼食の試食会を行い、普段ご利用者様にお出ししているお食事を召し上がっていただきました。

また、同日午後にはグループホームでもご家族様や運営会議委員も参加していただき交流会を開催しました。職員によるノロウイルスについての学習会のあと、手作りのスイートポテトを参加者全員で味わいました。

2月18日には特養家族会総会が開催され、事業・決算報告等が行われました。その後、ご利用者様の日常や行事の様子をお撮りした写真のスライドショーを行いました。ご家族様からは「家族では引き出せない笑顔が見られた」とご好評をいただきました。

6. 井手町ふれあい福祉まつり

3月25日、井手町ふれあい福祉まつりに参加しました。グループホームのご利用者様は外出レクリエーションとして楽しまれ、在宅介護支援センターでは介護相談コーナーを受け持ちました。

7. 地域と共に

高齢者や認知症について理解を深めていただくため、地元の児童、生徒たちとの交流や、町民の方々にできるだけ施設のことを知っていただくための活動などを実施しました。

12月7日 多賀小学校にて福祉学習「車いす体験」(5・6年生37名)

12月15日 井手小学校にて認知症サポーター養成講座(6年生35名)

1月19日 井手小学校による、いでの里施設見学(4年生34名)

1月31日 井手町社会福祉協議会「ボランティア交流会」での講演(玉泉苑にて、参加者60名)

2月25日 井手町老人クラブ連絡協議会による、いでの里施設見学・意見交換会(参加者16名)

8. 安心・安全な施設づくり

皆様が安心してご入所・ご利用いただけるよう様々な取り組みを行いました。

(1) 感染症対策(主なもの)

- ・ウイルス対策用薬液噴霧器を施設内随所に多数配置。
- ・流行のフェーズ毎、事業所毎の簡易対応マニュアルを作成。
- ・各事業所詳細版対応マニュアルの見直しと対応訓練、研修の実施。
- ・職員、ご利用者様、ご家族様への早期の周知、協力依頼。

(2) 災害、防災対策(主なもの)

- ・非常災害対策計画の策定。(29.11策定済)
- ・土砂災害対応避難訓練の実施。(29.6.6「京都府水害対応訓練」参加型訓練)
- ・夜間火災等発生想定避難訓練の実施。(29.11.8・30.3.16)

Ⅱ 各事業所の利用（実施）状況

1. 特別養護老人ホーム

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	2,200	2,276	2,193	2,134	2,191	2,146	2,269	2,171	2,196	2,170	1,919	2,182	26,047
	97.8	97.9	97.5	91.8	94.2	95.4	97.6	96.5	94.5	93.3	91.4	93.8	95.1
28年度	2,092	2,152	2,054	2,135	2,262	2,155	2,250	2,154	2,271	2,191	1,979	2,219	25,914
	93.0	92.6	91.3	91.8	97.3	95.8	96.8	95.7	97.7	94.2	94.2	95.4	94.7

【参考・・・29年度 目標利用者数（稼働率）：26,213人（95.8%）】

平成29年度は、入院者数が前年度比1割減少（28年度1,105人・日→29年度993人・日）し、退所者数も減少（28年度19人→29年度15人）しました。また、感染症対策を強化したことで、前年度のようなノロウイルスの感染流行はありませんでしたが、全国的に大流行したインフルエンザの影響（新規入所の延期等）は避けられませんでした。しかし、年間を通してご利用者様の健康管理や退所後の早期の受け入れ等に努力し、前年度より実績は上がり、ほぼ年度目標に近い稼働率を挙げることができました。

2. ショートステイ

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	285	267	260	276	301	253	253	255	269	243	182	234	3,078
	95.0	86.1	86.7	89.0	97.1	84.3	81.6	85.0	86.8	78.4	65.0	75.8	84.3
28年度	176	277	266	297	319	296	306	309	186	61	167	253	2,913
	58.7	89.4	88.7	95.8	102.9	98.7	98.7	103.0	60.0	19.7	59.6	81.6	79.8

【参考・・・29年度 目標利用者数（稼働率）：3,471人（95.0%）】

平成29年度も居宅介護支援事業所との連携を図りつつ、近隣居宅介護支援事業所への働きかけを行うなどにより新規利用者獲得に努め、また、利用についてはデイサービスやヘルパー事業に結びつけるなど、いでの里全体の稼働も向上させていくという視点で運営を行いました。

しかし、昨季の全国的なインフルエンザの流行により、1月～3月の期間の稼働率は大幅に低下しました。この結果、前年度より実績は上がりましたが、年度目標より約10ポイント低い稼働率となりました。

3. グループホーム

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	270	277	253	279	249	270	262	270	279	273	250	279	3,211
	100	99.3	93.7	100	89.2	100	93.9	100	100	97.8	99.2	100	97.7
28年度	270	270	270	276	279	270	279	270	279	259	243	279	3,244
	100	96.8	100	98.2	100	100	100	100	100	92.8	93.1	100	98.8

【参考・・・・・・・・29年度 目標利用者数（稼働率）：3,189人（97.1%）】

平成29年度は、退所者が3名（28年度0人）あり、入所までの空室期間が生じたこと、入院された方もあったことから、年間稼働率としては前年度より1.1ポイント下がりましたが、年度目標は上回りました。今後、ご利用者様の介護状態や体調面で退所に至る場合も想定されることから、待機者の把握等適切に運営してまいります。

4. ケアハウス

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	180	272	295	310	310	352	392	420	434	465	420	440	4,290
	40.0	58.5	65.6	66.7	66.7	78.2	84.3	93.3	93.3	100	100	94.6	78.4
28年度	390	446	412	404	402	287	271	266	279	269	233	239	3,898
	86.7	95.9	91.6	86.9	86.5	63.8	58.3	59.1	60.0	57.8	53.6	51.4	71.2

【参考・・・・・・・・29年度 目標利用者数（稼働率）：4,467人（81.6%）】

平成29年度は、入所者10名（定員15名）からスタートし、4月には8名まで落ち込みました。退所理由は、体調不良や介護度の上昇等により入院され、結果介護福祉施設等に移られたことによります。入所者の確保については、従来から新聞チラシの折り込み、近隣の病院や居宅介護支援事業所などへPR活動を行ってまいりましたが、このような状況から、さらに強化し、インターネットを利用した募集や京都府内126ヶ所の地域包括支援センターに毎月情報を提供するなどの活動を行った結果、徐々に入所者が増え、1月には満室にすることができました。ただし、平成29年度目標の13名到達まで日を要したため、前年度実績は上回りましたが、年度目標を3.2ポイント下回りました。

また、今後も、直ちに入所したいという方だけでなく、今は生活に支障はないが、将来的なことを考えて、という方も確保していくよう努めてまいります。

5. デイサービス

上段：利用者数（人）／下段：1日当たり利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	771	763	697	721	768	779	809	834	783	708	741	801	9,175
	30.8	28.3	26.8	27.7	28.4	30.0	31.1	32.1	30.1	29.5	30.9	29.7	29.6
28年度	783	840	831	798	838	809	776	745	779	752	678	776	9,405
	30.1	32.3	32.0	30.7	31.0	31.1	29.8	28.7	30.0	31.3	28.3	28.7	30.3

【参考・・・29年度 目標利用者数（稼働率）：9,457人（30.5人／日）】

平成29年度は、上半期が、新規利用者の獲得に努めたものの低調な実績に終わり、逆に下半期は、冬季の感染症が在宅でも広がっていた状況でしたがほぼ目標どおりの稼働率が確保できました。年間を通じては、前年度対比で0.7ポイント利用実績が下がり、年度目標を0.9ポイント下回る結果となりました。引き続き居宅介護支援事業所との連携を強化し、新規契約者の確保に努めてまいります。

6. ヘルパーステーション

上段：利用者数（人）／下段：1日当たり利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	781	791	699	745	759	696	821	757	700	608	575	636	8,568
	26.0	25.5	23.3	24.0	24.5	23.2	26.5	25.2	22.6	19.6	20.5	20.5	23.5
28年度	810	789	778	755	874	868	881	877	900	793	742	810	9,877
	27.0	25.5	25.9	24.4	28.2	28.9	28.4	29.2	29.0	25.6	26.5	26.1	27.1

【参考・・・29年度 目標利用者数（稼働率）：8,395人（23.0人／日）】

平成29年度は、利用回数の多いご利用者様のご入院等により、年度目標は達成しましたが、前年度より1日当たり利用者数が3.6人減、延べ利用者数も約13%減となりました。しかし、依然として利用ニーズは高く、特に朝夕の時間帯や土日祝日での派遣も多く、登録ヘルパーの増員や、いでの里内他事業所介護職員を一定の時間、ヘルパー業務の応援をするなどの取り組みにより、もれなくサービスが提供できるよう運営してまいります。

7. 居宅介護支援事業所

請求件数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	209	213	210	203	201	211	207	210	209	211	196	208	2,488
28年度	209	213	214	215	218	213	215	217	218	215	212	217	2,576

【参考・・・29年度 目標請求件数：2,520件（210件／月）】

平成 29 年度は、月平均 207.3 人（要支援を含む）の介護保険請求となり、前年度の月平均 214.6 人（同）を下回りました。ご入院や施設入所等による一時的な減と考えられますが、井手町の高齢化率の上昇傾向から、今後漸増していくことが予測されます。

このため、介護保険法改正により権限移譲された井手町や井手町地域包括支援センターと更なる連携強化に努め、情報共有を密接に行い、困難事例の対応等を円滑に進めてまいります。

8. 在宅介護支援センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談件数(件)	14	17	23	13	26	35	15	17	17	20	20	18	235
ミニデイ参加者(人)	92	55	115	74	86	101	104	65	109	28	50	86	965
実施回数(回)	9	8	9	11	7	8	8	8	7	4	8	9	96
配食サービス数(食)	411	451	418	435	454	423	437	402	377	325	343	357	4,833
1日当たり提供数(食)	20.5	19.6	19.0	20.7	19.7	18.3	19.8	18.2	17.9	16.2	17.1	16.2	18.6
介護者教室参加者(人)		5			7			10				12	34
おたっしや塾参加者(人)	0	0	0	0	0	0	20	11	19	22	27	17	116

※おたっしや塾＝介護予防・日常生活支援総合事業

介護相談については居宅介護支援事業所との連携により、相談件数は昨年度より増加していますが、相談実人数については、ほぼ横ばいとなりました。

ミニデイ（高齢者生きがい活動支援）については、平成 29 年度より、家から出にくくなっている方が対象の「みろく塾」を新たに開始し、少人数ではありますが、引きこもり予防として今後も取り組んでまいります。

配食サービスについては、施設入所や入院等により、毎日ご利用されていた方の利用が減りましたが、根強いニーズもあることから、井手町とも連携し、適切に対応してまいります。

介護者教室については、年 4 回の開催により、介護技術の向上やストレスの解消に効果はあったのではと思えますが、参加者からは、もっと深く学びたいという声もあることから、ニーズに応えられるよう工夫して実施してまいります。

おたっしや塾については、平成 29 年度より開始し、年度前半は周知不足等からご利用者様がなく懸念しておりましたが、10 月より徐々に増えました。しかし、当初目標（年間 480 人）にはほど遠く、課題を残しました。このため、要支援の方の「今の状態を維持したい、今よりも歩けるようになりたい」との強い思いに応え、維持できる喜びや「楽しいのでまた来たい」と感じてもらえるよう、実施内容の工夫・実施回数の増によりご利用者様の増加を目指します。

実施期日	テーマ	講師等
4月14日	「組織の展望・法人が求める人材」	サービス向上委員会 講師：京都清水メディケアシステム 法人本部 清水幹久専務
5月2、26日	「糖尿病を患う利用者の調理の提供（野菜嫌い）」調理実習	ヘルパーステーション (進行：中井主任)
5月18日	「食事介助と嚥下食体験」 〈極刻み食〉〈ミキサー食〉〈ソフト食〉	サービス向上委員会 (進行：管理栄養士 西川副主任)
5月29日	「認知症研修 ユマニチュードの視点から」	デイサービス (進行：岩永主任)
6月13日	「入浴介助」・独歩での一般浴槽入浴・車椅子から車椅子入浴	ヘルパーステーション 特養いでの里で実践研修
6月23日	「嚥下・口腔体操～作業療法士の視点より～」 「職員腰痛予防」	サービス向上委員会 (進行：岩永主任、上原作業療法士、川元CW)
6月26日	「接遇」介護には介護のホスピタリティがある	デイサービス (進行：岩永主任)
7月19日	「臥床時のポジショニング・体転」	サービス向上委員会 講師：アイソネックス株式会社 副社長 山本勉氏、ソーケンメディカル株式会社 主任 岩渕泰和氏
8月23日	「福祉用具による褥瘡予防」身体にかかる圧の影響と対策	サービス向上委員会 講師：モルテン 健康用品事業部 林拓郎氏 ソーケンメディカル株式会社主任 岩渕泰和氏
9月22日	「流行期に備えて感染対策予防を学ぼう」	サービス向上委員会 講師：岡本記念病院感染管理実践看護師 村中里奈氏
10月4日	「接遇に関する勉強会」 気の利く会話での対応力を高める接遇の基本研修	京都リハビリテーション病院 講師：JapanSIQ協会 人材育成プロジェクト 中村智恵子氏
10月25日	「排泄介助」おむつの選び方と正しい使い方	サービス向上委員会 講師：ユニチャーム 相川氏
11月15日	新人フォローアップ研修	法人本部
11月30日	「高齢者介護における身体拘束に対する正しい理解について」	サービス向上委員会 講師：京都府障害者・高齢者権利擁護センター室長 今井昭二氏
12月19日	「認知症ケア 事例発表会」	サービス向上委員会 発表者：特養Ast中坊CW、特養Bst木村CW
2月26日	「事例発表会」〈ケアハウスが抱える問題〉〈認知症ケアの取り組み短期記憶障害に働きかける〉	サービス向上委員会 発表者：CH板東副主任、GH上田CW
3月21日	グループホーム勉強会「高齢者の服薬管理について～薬の取り扱いの基本～」	グループホーム 講師：薬剤師出野菜穂子氏（京都府認知症グループホーム協議会）
3月28日	「記録について」	サービス向上委員会 講師：京都福祉専門学校 美谷島正行氏、藤田桂子氏

実施期日	研修名	実施者	場 所	研修テーマ、内容等
4月8日 4月9日	個別機能訓練Ⅰ・Ⅱ書類総合習得セミナー	日本通所ケア研究会	大阪科学技術センター	書類整理の基本、通所介護計画書、個別機能訓練・アセスメント・個別機能訓練ⅠⅡ・モニタリングについて他
5月11日	H29年度京都府老人福祉施設協議会新任職員研修会	京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	利用者の尊厳、介護のプロとして求められるケアを通しての適切なマナー
5月19日	H29年度介護保険サービス事業者等に係る集団指導	京都府保健福祉部介護・地域福祉課	文化パルク城陽	「京都府における介護保険事業者等指導・監査方針」「事業運営上の重点事項等」「請求事務に係る留意事項等」
5月30日	南部ブロック栄養士部会	(福)京都山城福祉会 特養ゆりのき	介護老人保健施設やましる	・施設見学 ・今年度の研修について
5月31日	H29年度オレンジロードつなげ隊企画会議	京都府山城北保健所	京都府宇治総合庁舎	今年度の啓発活動について
6月16日	H29年度指定障害福祉サービス事業者等に係る集団指導	京都府保健福祉部介護・地域福祉課	文化パルク城陽	「京都府における障害福祉サービス事業者等指導・監査方針」「事業運営上の重点事項等」「請求事務に係る留意事項等」
7月21日	H29年度 オレンジロードつなげ隊養成・フォローアップ研修	京都府、京都地域包括ケア推進機構	京都府医師会館	「ともに地域で暮らしていくために」「オレンジロードつなげ隊の取組～地域住民への啓発～」
7月26日	養護経費部会 生活相談員研修	京都府老人福祉施設協議会	交流プラザ福知山	・老人福祉の制度論 ・地域貢献事業の取り組みについて
8月2日	H29年度 京都府機能訓練指導員等研修会	京都府保健福祉部リハビリテーション支援センター	京都府医師会館	・機能訓練指導員の役割とアセスメント力の向上 ・施設等におけるリハビリテーションの視点及び知識・技術の習得
8月10日	H29年度 京都府介護支援専門員専門研修・実務経験者更新研修〔課程Ⅱ〕	京都府介護支援専門員会	ハートピア京都	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ・ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表
9月1日	H29年度 身体拘束ゼロ推進研究委員会リーダー職員研修会	京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	「身体拘束実態調査の報告及び高齢者の尊厳について現場職員に願うこと」
9月7日	H29年度 権利擁護・成年後見制度推進に係る学習会	京都府社会福祉協議会	しんらん交流会	実態調査を通じて、関係機関との連携を深めた取り組みから当事者を中心とした地域における権利擁護の仕組み作りを学ぶ。
9月29日	ストレスマネジメントに関する勉強会	京都リハビリテーション病院	ケアフルヴィレッジ「フルール」	「ストレスチェック制度の概要と実施の意義」「ストレスの原因とその症状と病気」

実施期日	研修名	実施者	場 所	研修テーマ、内容等
9月29日 10月12日 12月5日	H29年度 キャリア アップ研修（初任者）	京都府社会福祉協議 会、京都府福祉人 材・研修センター	京都社会福 祉会館 ハートピア 京都	初任者の役割を確認しな がら、このステージでのキャ リアデザインと自己管理の 在り方を検討する。
10月5日	H29年度 社会福祉専 門セミナーⅠ（アン ガーマネジメント基礎 編）	京都府社協/京都府福 祉人材・研修セン ター	京都テルサ	「怒りの感情(アンガ ー)と上手 に付き合っていく技術<アン ガーマネジメント>を身につけよ う」
10月9日 12月8日 1月10日	H29年度 看取りサ ポートの人権養成研修 ～最後まで自分らしく 生きる～	京都府・京都府介護 支援専門員会	京都テルサ	京都府が取り組む、高齢者が住 み慣れた地域で安心して最後ま で暮らせる社会の構築、看取り サポート人材の養成について
10月28日 11月25日 12月24日 1月20日	認知症ケアスーパー人 材養成研修	京都認知症総合セン ター機能強化事業プ ロジェクト	宇治市 産業会館	「関係性の障害という視点 から認知症を理解する」講 師：松田実 医師（清山会 いずみの杜診療所医療福祉 グループ）
11月16日	H29年度 福祉サービ ス苦情解決事業セミ ナー	京都府福祉サービス 運営適正化委員会	立命館大学 朱雀キャン パス	「高齢者及び精神障害のある 者に関する犯罪等の動 向」～法務省 法務総合研 究所報告より～
11月28日	H29年度 京都老人福 祉学会	京都府老人福祉施設 協議会	ガレリア かめおか	「我が事・丸ごと」地域共 生社会の実現に向けて 講演「大切なものは目に見 えない」
11月30日	山城北・南ブロック養 護・軽費生活相談員連 絡会	京都府老人福祉施設 協議会	山城 ぬくもりの 里	・山城北・南ブロック生活 相談員連絡会の運営につ いて ・情報交換
12月6日	H29年度 福祉リー ダーの極意を学ぶセミ ナー	京都府社会福祉協議 会、京都府福祉人 材・研修センター	ハートピア 京都	部下や後輩の指導に悩むあ なたへ「久田直伝！苦手な 部下との付き合い方」「セ ルフ・リーダーシップ」他
12月14日	京都府介護支援専門員 実務研修における実習 受入協力事業所指導者 講習会	京都府健康福祉部高 齢者支援課	京都テルサ	介護支援専門員実務研修カ リキュラム内容等
1月12日	H29年度 特定給食施設 等従事者研修会	京都府山城北保健所	文化パルク 城陽	山城北保健所における災害 時の栄養・食生活支援につ いて
2月1日	H29年度 京都式地域包 括ケア取組発表会	京都府地域包括・在 宅介護支援センター 協議会	京都府 医師会館	「市町村・団体等の取組状 況・方策を共有し、さらな る取組の推進に繋げる。」
2月7日	転倒・骨折事故防止対 策セミナー	株式会社 葵総合保 険	京都キャン パスプラザ	施設の転倒事故防止策の現 状、介護のプロとして防ぐ 義務の重い転倒事故とは？
2月 19, 20, 27 , 28日	H29年度 京都府介護 支援専門員専門研修・ 実務経験者更新研修 〔課程Ⅱ〕	京都府介護支援専門 員会	ハートピア 京都	介護保険制度及び地域包括ケ アシステムの今後の展開、ケ アマネジメントにおける実践事例の 研究及び発表

平成29年度 外部研修実施記録

実施期日	研修名	実施者	場 所	研修テーマ、内容等
2月22日	山城北・南ブロック養護・軽費生活相談員連絡会	京都府老人福祉施設協議会	社会福祉法人八康会ケアハウス楽生苑	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の募集、確保、待機について ・認知症の方としっかりされた方の関わりについて
3月5日	軽費老人ホーム・ケアハウス意見交換・セミナー	近畿老人福祉施設協議会	大阪リバーサイドホテル	グループディスカッション：ケアハウスの生活支援等についての意見交換
3月7日	「高齢者の尊厳・権利擁護について考える」高齢者虐待防止トレーナー養成基礎研修	京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	トレーナーとして職場環境を踏まえた虐待防止の育成ができるようになることを目指す。
3月20日	介護報酬改定にかかる説明会	京都府保健福祉部介護・地域福祉課他	京都国際会館	平成30年度介護報酬改定の概要、算定の留意点等について

平成29年度 日野しみずの里 事業報告

平成29年度は、各事業所において稼働率確保に苦戦し、人件費等支出は抑制できたものの、大幅な収入の減少により予算未達となりました。

4つの事業所の内、特別養護老人ホームについては、平成28年度後半の稼働率低下を引きずったまま平成29年度のスタートとなり、7月までの稼働率は80%台で推移しました。8月以降は、生活相談員の活躍もあり稼働率は90%台で推移し、年間稼働率は92%となり、平成30年度に良い状態で引き継げる結果では終わることができました。

ショートステイにつきましては、一時休止していましたが平成29年10月に再開いたしました。営業活動を積極的に行いましたが、直ちに稼働率へ反映はしなかったものの、年末年始を境に職員の対応の良さもあり、利用者増加を図ることができ期末の3月には70%台の稼働率を確保することができました。特養と同じく良い状態で平成30年度に引き継ぐことができました。

デイサービスにつきましては、居宅支援事業所や在宅支援センターへの営業活動で利用者の登録契約数の増加を図ってまいりましたが、結果としましては一年を通して減少する契約者をカバーする程度の新規契約の受け入れしかできず、登録契約数を増加させるまでには至りませんでした。一日当りの利用者数は、前年を下回る結果となりました。

最後に、居宅介護支援事業所ですが、ケアマネージャーの退職により上半期に取扱い件数が減少しました。10月の採用で下期は徐々に件数が増加しているものの、年間の取扱件数は前年比大幅に減少しました。今後も徐々にではありますがこの増加傾向は平成30年度に継続されて行くものであります。

平成29年度は、稼働率を上げることができず、大幅な収入の減少が要因となり予算未達となりました。傾向としては、期末に向かって上昇傾向を示しており、安心して事業の安定化を図ってまいりました。そして30年度にこの上昇傾向をつなげていきたいと考えています。

I 事業運営

1. 特別養護老人ホーム

(1)平成29年度 実地指導

平成30年1月25日京都市監査指導課による実地指導を受けました。
主任監査員を含め5名の監査員が、終日にわたり運営のチェックをされました。
軽微な指摘事項はあったものの、重大不備にあたるような指摘は無く終わることができました。

(2)夏祭り

7月9日、ご利用者やご家族をお招きし夏祭りが盛大に行われました。
各ユニットで工夫を凝らし、輪投げや的当て、お化け屋敷などを設置して楽しんでいただきました。食べ物も管理栄養士の指導の下、カレーライスや冷やしうどんなどのメニューを提供させていただきました。またボランティアによる美容ブースでマッサージやメイクなどを行い、楽しい一日を過ごすことができました。

(3)敬老会

9月18日、長寿をお祝いし、施設よりご利用者全員に記念品を贈らせていただきました。家族会からは、傘寿（80歳）4名、米寿（88歳）6名、卒寿（90歳）10名、白寿（99歳）1名、上寿（100歳）1名、101歳以上3名の合計25名のご利用者にお祝いの賞状と記念品をお贈りし、理事長からは100歳以上の計4名のご利用者に 蘭の花が贈られました。

(4)レクリエーション

季節を感じていただき楽しんでいただける企画を実施いたしました。
4月—お花見 5月—ハンドベル演奏 6月—舞踊の会の踊り 8月—ドッグセラピー 10月—コーラス 11月—ハーモニカ演奏 12月—教会の讃美歌、クリスマス 1月—餅つき 2月—節分豆まき 3月—和太鼓演奏
また、植物園やレストランなどへ外出し気分を変えていただくような行事も各ユニットで積極的に行いました。

2. デイサービス

(1)夏祭り

8月7日～12日に夏祭りを行いました。一銭洋食や焼きそば、たこ焼きなどを出店風に提供させていただきました。午後からは射的やくじ引き大会などのゲームを行い、盛りだくさんの楽しい1日を過ごしていただきました。

(2) 敬老会

9月18日～23日にかけて敬老会を行いました。ご利用いただいた皆様に記念品をお渡しし、賀寿にあられるご利用者には、長寿をお祝いする感謝状をお渡ししました。和太鼓演奏会やウクレレフラダンスショーの催し物を行うなど楽しい時間を過ごしていただきました。

(3) 運動会

10月9日～14日は運動会を行いました。ボール渡しパン食い競争など身体機能に関わるような競技を工夫して行い、楽しんでいただきました。

また、今年度も醍醐地域デイサービス対抗風船バレーボールを4試合行いました。ご利用者にとっては他事業所方と交流することで、普段以上の元気さと明るさが見ることができ、とても有意義な時間となりました。

(4) レクリエーション

お花見や紅葉狩り、クリスマスや節分などの季節を感じることができる行事や、レストランでの食事やショッピングモールに買い物に出かけるなど、気分転換できるような企画も行いました。そのほか演奏会など音楽に関わるボランティアの協力を得た行事も実施いたしました。

3. クラブ活動

希望者を募り、書道・園芸・手芸、3つのクラブ活動を行っています。

書道 — 先生をお招きし、一生懸命練習されています。

園芸 — 苗を購入し、プランターにお好きなお花を育てています。

手芸 — ブレスレットなど気に入った小物を制作されています。

3階フロアに作品や制作中の風景写真を展示し、力作を披露されています。

4. 地元と共に

(1) 12月クリスマスの時期に合わせ、宇治コミュニティ教会の皆様が讃美歌を披露していただきました。楽しい時間を過ごすことができました。

(2) 毎週月曜日の朝に、施設周辺の清掃活動を行っています。些細なことですが継続することが大事と考えていますので、引き続き実施してまいります。

5. 家族会

29年度の総会を4月22日に実施しました。意見交換会ではご家族からレクの案内を増やしてほしい、職員の顔と名前が一致しにくいなど、意見が活発に出され大変有意義な総会となりました。

Ⅱ 各事業所の利用（実施）状況

1. 特別養護老人ホーム

上段：利用者数(人) / 下段：稼働率(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	2,886	2,979	2,908	3,057	3,215	3,162	3,325	3,118	3,110	3,077	2,874	3,212	36,923
	87.5	87.4	88.1	89.6	94.3	95.83	97.5	94.5	91.2	90.2	93.3	94.2	92.0
28年度	3,234	3,358	3,217	3,309	3,273	3,037	3,028	2,868	2,937	2,916	2,695	2,966	36,838
	98.0	98.5	97.5	97.0	95.9	92.0	88.8	86.9	86.1	85.5	87.5	87.0	91.7

【参考・・・29年度 目標利用者数（稼働率）：38,690人(96.3%)】

平成29年度は、前年度後半の稼働率低下を引きずったままでのスタートとなり7月まで80%台と低迷し、8月以降生活相談員の活躍やユニット職員の頑張りもあり、ようやく90%台を確保できる状況となりました。4月～9月上半期の稼働率は90.4%、10月～3月下半期の稼働率は93.5%、年間稼働率は92.0%となりました。期末に向かって上昇傾向で、3月末には空ベッドなく満床で終了することができ、平成30年度につなげて行くことができました。

2. ショートステイ

上段：利用者数(人) / 下段：稼働率(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度							9	42	117	146	172	236	722
							2.9	14.0	37.7	47.1	61.4	76.1	39.7
28年度	229	243	224	232	272	224	249	210	211	50			2,144
	76.3	78.4	74.7	74.8	87.7	74.7	80.3	70.0	68.1	50.0			75.2

【参考・・・29年度 目標利用者数（稼働率）：1,438人（79.0%）】

一時営業を休止していましたが、平成29年10月に営業を再開いたしました。積極的な営業活動や、ユニット内のレトロな雰囲気、アットホームな職員の対応が功を奏し、年末年始の営業を境に新規利用者が増加しリピーターも増えました。稼働率は、平均すると39.7%で高くはないですが、2月は60%台、3月は70%台と順調に推移することができ、この上昇カーブを平成30年度に引継ぐことができました。今後は、安定化させて行きたいと考えています。

3. デイサービス

上段:利用者数(人) / 下段:1日当たり利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	352	408	364	338	327	315	325	347	363	330	331	348	4,148
	14.1	15.1	14.0	13.0	12.1	12.1	12.5	13.3	14.0	13.8	13.8	12.9	13.4
28年度	364	358	363	365	382	406	376	350	335	324	317	375	4,315
	14.0	13.8	14.0	14.0	14.1	15.6	14.5	13.5	12.9	13.5	13.2	13.9	13.9

【参考・・・29年度 目標利用者数(稼働率):5,267人(17人/日)】

平成29年度は、登録契約数の増加を図ってまいりましたが、一年を通して減少する契約者をカバーする程度の新規契約しか受け入れできず、大幅な登録契約数増加を図ることができませんでした。(47名→49名)

中でも7月に入院者が7名あり、10月まで月平均1日当りの利用者が12人台まで落込んだ時期もありました。

新たな取り組みとしては、11月から生活機能訓練の一環として、施設の立地条件を活かし向かい側にあるスーパーで買い物をする事業をスタートさせましたが、現状利用者増加までには至っておりません。

結果、年間平均では1日当りの利用者数は13.4人となりました。

4. 居宅介護支援事業所

上段:請求件数(件) / 下段:目標対比(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	52	49	39	33	36	37	37	42	42	43	46	47	503
	78.8	74.2	59.1	48.5	52.9	54.4	52.8	60.0	60.0	61.4	65.7	67.1	61.2
28年度	64	61	60	58	58	58	58	52	48	48	46	52	663
	91.4	87.1	85.7	82.8	82.8	82.8	82.8	74.3	68.6	68.6	65.7	74.3	78.9

【参考・・・29年度 目標請求件数:822件(68.5件/月)】

平成29年度は、配属のケアマネージャーの退職により上半期に取扱い件数が減少し、10月に新たなケアマネージャーを採用できたことで、11月以降徐々にではありますが取扱い件数が増加するという状況になりました。年間請求件数は503件となり、前期より大幅に減少いたしました。

今後は11月以降の増加傾向を継続維持することで、平成30年度の請求件数増加を図って行きたいと考えています。

資料

平成29年度 研修記録

実施期日	演題・テーマ	実施者	場 所	内容の概要等
(期 間)	(講習会名)	(主催者)	(実施 地名)	
4月2日 ～ 4月5日	新人研修	本部人事	呉竹文化 センター	社会人としての基本事項を学ぶ
4月7日 ～ 4月9日	新人研修	研修委員会	施設内	施設の基本事項や業務全般について学ぶ
5月15日	ケアマネジメントに於ける アセスメントについて	京都市 老人福祉施 設 協議会	ひとまち 交流館	ケアマネジメントの基本の内容を再確認
5月18日 6月23日	対人援助職のための コーチング活用講座	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	介護職へのコーチング
6月6日	食中毒について	研修委員会	施設内	食材の取り扱い方法・注意点
6月7日	生涯キャリアパス研修 チームリーダーコース	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	チームリーダーとしてのキャリアデザイン と自己管理
6月9日 6月13日	生涯キャリアパス研修 中堅職員コース	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	中堅職員に対するキャリアデザイン
6月15日	ユニットリーダー研修 (前期)	ユニットケ ア推進セン ター	各該当 施設	ユニット内におけるリーダーシップとマネ ジメントの在り方を実践的に学習
6月13日	介護研修初級	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	残存機能を利用した体位変換
6月19日	身体拘束虐待防止研修	研修委員会	施設内	身体拘束 虐待の具体的行為他

7月12日	介護研修初級	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	排泄のメカニズム 排泄ケアについて
7月14日 ～ 8月30日	京都市 認知症介護実践者研修	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	認知症の容態に応じ生活の質の向上を図る 対応及び技術を習得する
8月1日	普通救命講習	研修委員会	施設内 研修	救急対応の重要性 心肺蘇生法、AED使用方法
8月16日	褥瘡予防と ポジショニング	研修委員会	施設内 研修	褥瘡の説明とポジショニング
9月9日	緊急時対応について	武田総合病 院	病院施設	AEDを含む一次救命処置の演習
9月11日	介護研修初級	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	認知症ケアに欠かせない医学的基礎知識
9月12日	産休育休の取扱い	年金機構	京都 テルサ	出産育児に関する休業期間中の取り扱い
9月18日	ユニットリーダー勉強会	研修委員会	施設内 研修	基本理念 チームワーク コミュニケーション 他
9月26日	介護研修初級	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	認知症ケアの基本
9月27日	認定調査委員現認研修会	福祉サービ ス評価機構	京都 テルサ	調査員としての項目定義の確認
10月4日	接遇勉強会	SIQ 教会	本部施設	接遇全般についての勉強会
10月9日	呼吸・循環について	メディカル 情報サービ ス	産業会館	呼吸循環中枢神経の メディカルアセスメント

10月11日 10月23日 11月9日	排泄ケア	ユニチャーム	施設内 研修	適切な選定、基本的なあて方について学ぶ
10月16日	ユニットリーダー勉強会	研修委員会	施設内 研修	組織人として リーダーシップ 他
10月20日 11月2日	感染症について	京都市医療 衛生センタ ー	施設内 研修	結核 感染症について
10月31日 ～ 12月6日	京都市 認知症介護実践者研修	京都市社会 福祉協議会	ひとまち 交流館	認知症の容態に応じ生活の質の向上を図る 対応及び技術を習得する
11月7日	ユニットケア コンビニフォーラム	ユニットケ ア推進セン ター	京都 テルサ	ユニットケアの基本 ユニットケアの取組み
11月15日 11月16日	新入職員 フォローアップ研修	本部人事部	本部施設	新入職員に対する研修全般
11月20日	ユニットリーダー勉強会	研修委員会	施設内 研修	リーダーに求めること グループワーク
12月20日 2月19日	ユニットリーダー勉強会	研修委員会	施設内 研修	各種マニュアルについて
1月29日	ターミナルケア	京都市 老人福祉施 設 協議会	ひとまち 交流館	ターミナルケアについて
3月19日	ユニットリーダー勉強会	研修委員会	施設内 研修	ユニットリーダーの責務について

平成29年度 深草しみずの里 事業報告

特養については、平成29年4月上旬に満床(110名)となり、その後、1年間を通じてほぼ安定した稼働(95.2%)を維持することができました。しかしながら、8月以降11月にかけて、入院される方の増加や入院死亡による入院退所が相次ぎ、また、入院期間の長期化に伴い稼働率が93%台に低下しました。そのため、稼働率の維持・向上を図ることを喫緊の課題と位置付け、退所に伴う新規入所調整を速やかに行い、空床期間をできる限り短縮するように務めました。

具体的には、入院された方の症状、治療状況等について、定期的に入院先医療機関に確認し、病状等から3ヶ月以内に退院できる見込がたたない方については、一旦、退所していただき、その後、入院中の病状が安定し施設での生活が送れる状態となった場合に、できる限り優先的に施設に戻っていただけるように入所調整を行うことといたしました。その結果、12月以降の平均稼働率は96%を維持することができました。

今後も、引き続き入院された方の症状把握をきめ細かく行い、個々の症状を勘案したうえで適切な対応に努めてまいります。

短期入所(ショートステイ)は定員10名ですが、受け入れ態勢の整備を図りながら、居宅介護支援事業所への積極的な営業活動を行うことにより、新規ご利用の方や継続利用される方が増えるとともに、新たに当施設デイサービスご利用者からの申し込みも増加傾向にあり、1年間を通じて1日平均約8人利用(79.6%)で推移できました。

今後も体調不良や他施設利用によるキャンセルを見越した上で、安定稼働が図れるよう居宅介護支援事業所への積極的な働きかけを行ってまいります。

通所(デイサービス)は定員30名ですが、近隣に同種の事業所が多いこともあり、4月以降、新たな相談員や介護職の入職に伴う業務体制の見直しや適正業務執行への意識付けを進め、併せて、デイサービス実施内容に徐々に工夫を凝らし選択メニューも増やしたうえで、翌月のスケジュール表を作成して相談員による積極的な営業活動を継続した結果、年度末の3月には月平均18.9人までご利用者が増加いたしました。

今後、更なる利用者数の増加を図るためには、介護人員や送迎体制の見直しを行なう必要がありますが、利用者数の推移を見ながら慎重に検討してまいります。

施設開設後2年が経過し、在宅部門であるデイサービス利用を通じてショートステイを継続利用される方、また、ショートステイ利用を通じて特養に入所される方も増加し

ていることから、デイ・ショート・特養相談員の情報共有・連携を密にするとともに、ケアフルビレッジ内の各施設相談員とも連携を深め、さらなる地域貢献に務めてまいります。

I 主な事業運営

1. 特別養護老人ホーム・短期入所(ショートステイ)

(1) 夏まつり

8月6日の日曜日に、開設後はじめての夏祭りを開催しました。開会宣言ののち、若手職員によるダンスで幕開け。その後、ボランティアによる腹話術、ギターの弾き語り、獅子舞と和太鼓、お神楽等の出し物が続き、最後は、職員やご家族も含めた全員で櫓を囲んでの盆踊りを行いました。また、各フロア職員や看護師がカレー、おでん、フランクフルト、ケーキ/スイカ、駄菓子/ジュースの各ブースを分担し、ご利用者・ご家族・ボランティアの皆様にご提供させていただき、多くのご家族の方々もご利用者とともに、射的やヨーヨー釣り、魚釣りを共に楽しんでおられ、大成功のうちに終えることができました。

(2) 敬老会

9月18日の敬老の日に、長寿をお祝いし、フロアごとに、上寿(100歳)、卒寿(90歳)、米寿(88歳)、傘寿(80歳)、喜寿(77歳)の方々にエレベーターホールにお集まりいただき、それぞれの長寿年齢に応じた職員手作りのポートレイト(ユニット職員が撮影した写真に文書を添えたカード)と紅白饅頭をお渡しし、フロア全体でお祝いし、記念写真を撮りご家族にも喜んでいただけました。

(3) 新年会

1月7日に、新年を祝い、ユニット間や職員同士の交流を図ることを目的として、新年会を開催しました。各ユニットにおいては、ご利用者様が事前に練習を繰り返された歌をご披露いただき、互いに練習の成果を称えられ交流を深められました。

また、職員による「獅子舞」「ひげダンス」「二人羽織」等の出し物でも盛り上がり、ご家族も含めて楽しく新年を迎えることができました。

(4) レクリエーション

① ボランティア

2箇月に1回の割合で、ギターの弾き語りボランティアを行っていただいております。また、年2回、ふるさとバンド「酔歌団」の皆様による懐メロのコンサートを開催していただき、参加者全員で歌と踊りを楽しめました。

② ユニットレク

クリスマス会や節分等の行事は各ユニットで趣向を凝らし、また、特養棟屋上庭園や中庭への散策は、天気事情に応じて適宜実施する他、施設外へ赴く外出レクリエーションや食事レクリエーション(たこ焼き、お好み焼き、各種鍋、おやつ作り)はユニット行事として、それぞれがユニット事情を考慮して計画・実施し喜んでいただいております。特に、季節に応じた野菜(ジャガイモ、きゅうり、トマト、ピーマン、エンドウ豆)を育てるユニットが多く、芋ほりや成果物の収穫により、ポテトサラダや豆ゴハンに調理して、季節の味を楽しみました。

(5) クラブ活動

フラワーアレンジメント部 毎月、参加者がそれぞれの趣向により、オアシス(保水力のある硬いスポンジ)に花をアレンジして差し込むことにより、楽しみながら集中力を養い日常リハビリを兼ねる。

絵手紙教室 第二木曜日に、葉書大の紙に思い思いの絵を画いて、それぞれのお部屋に飾って楽しんでいただく。

ネイル部 ハンドマッサージをしてネイルの色を一緒に選んでいただき、手と手を合せてスキンシップを図ることにより、心身機能・生活機能の維持・向上を図り、生活の質を上げ認知症予防に繋げる。

(6) 介護相談員

平成29年2月から、京都市介護相談員派遣事業による介護相談員2名(男女各1名)の派遣を受入れています。(毎月2回実施)

介護相談員は、サービス利用者やその家族から話を傾聴する中で、利用者や家族が感じておられる日頃の疑問や困りごと、また、職員に直接言いにくいことな

どがあれば、サービス提供施設との間に立って問題解決に向けた手助けをする、いわば利用者や家族との橋渡しをする役割を担っています。特に、帰宅願望の強い認知症状の方を中心に傾聴を行なっていただいております、個々の過去の記憶を呼び起こすことで会話が弾み気持ちが落ち着かれる効果も現われています。

(7) 認知症高齢者のための新たな空間デザインの実証研究への協力

島根大学大学院特任教授・田中直人氏と公益社団法人・京都デザイン協会との共同研究として、懐かしいと思われる事物を居住空間に取り入れることで、「回想法に期待される心理療法としての効果」と「認知症入居者の周辺症状の緩和」が期待される導入方法を導き出すことを目的として実施されました。

具体的には、1階共有部分に「駄菓子屋台」「バス停」、2階に「縁側ユニット」3階に「お地蔵さんユニット」4階に「おくどさんユニット」を設置し、主に認知症で帰宅願望の強い入居者の方々に回想法に基づく調査の継続実施に全面的に協力を行っています。

2. 通所(デイサービス)

- (1) 夏まつり 8月29・30日の両日にかけて、ご利用者に五感で夏を感じていただき、回想療法による効果も期待して、懐かしいゲーム(射的・金魚すくい・輪投げ)を体験していただき、盆踊りも全員参加で実施し、懐かしさと楽しさの中で喜んでいただきました。
- (2) ボランティア 特養と同じギターの弾き語りボランティアの方に、2箇月に1回の割合でお越しいただき、ギター演奏を通じて参加者全員との交流を深めていただいております。
- (3) クリスマス会 クリスマス週間(12月20日)には、職員のピアノによる演奏により童謡からクリスマスソングまで楽しんでいただきました。
- (4) レクリエーション 桜や藤棚、伏見桃山城や太陽が丘公園への外出レクリエーション、喫茶レク、お好み焼きやたこ焼き、各種鍋料理の食事レク、水無月・ホットケーキ・クッキー・ベビーカステラ等をつくるオヤツレクも季節に合わせて計画・実施し喜んでいただいております。

(5) 個別機能訓練

現在の在宅生活を一日でも長く続けていただけるよう、毎回、日常生活動作の維持・向上を目的とした体操(上下肢、骨盤低筋、手先)を40分程度継続して行っていただいています。

(6) 認知症予防「みんなの脳活性化いきいきゲーム」の導入

身体面の維持向上及び脳の活性化を図ることを目的として、認知症予防に長年の実績のある「NPO法人・認知症予防ネット」が開発された21種類のプログラムに基づき、研修を受けた当施設介護職員が毎週木曜日に1時間かけて実施しております。

Ⅱ 各事業所の利用（実施）状況

1. 特別養護老人ホーム

上段:利用者数(人) / 下段:稼働率(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	3109	3222	3184	3290	3230	3100	3203	3091	3257	3307	2947	3276	38216
	94.2	94.5	96.5	96.5	94.7	93.9	93.3	93.7	95.5	97.0	95.7	96.1	95.2
28年度	1647	2064	2249	2599	2773	2696	3038	2989	3100	3089	2609	3040	31893
	48.8	58.1	65.5	73.9	77.6	76.8	84.8	87	88	87	84.7	89.1	76.8

【参考・29年度 目標利用者数（稼働率）：38,303人（95.5%）】

8月から11月にかけて、入院や死亡による退所が続き、稼働率が低下しました。

その後、入院時の症状、その後の症状の推移、回復状況、退院見込について、きめ細かく把握を行い、入居者にとって最も適切なケアを提供できるという観点からご家族との話し合いを行い、退院見込みの立たない方には一旦退所していただき、入所待機者の中で緊急度の高い方に入所していただくよう取組みました。

その結果、12月以降は平均稼働率が向上いたしました。

2. 短期入所（ショートステイ）

上段：利用者数（人）／下段：稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	248	255	239	218	234	231	274	227	262	269	226	222	2905
	82.7	82.5	79.6	70.3	75.5	77.0	88.0	76.0	81.0	81.0	81.0	72.0	79.6
28年度	137	134	213	211	216	223	222	218	214	240	238	224	2490
	45.7	43.2	71.0	68.1	69.7	74.3	71.6	72.7	69	77.4	85	72.2	68.3

【参考・29年度 目標利用者数（稼働率）：2,920人（80.0％）】

1泊～2泊の短期利用が多く、入退所に伴う送迎回数も多かったが、デイからのご利用者が増加し、特養の待機者がお試しで長期利用されるなど、深草しみずの里としての事業所間連携が進み、ほぼ当初計画を達成できました。

3. 通所（デイサービス）

上段：利用者数（人）／下段：1日当たり利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	378	380	366	377	416	438	442	467	483	422	417	510	5096
	15.1	14.1	14.1	14.5	15.4	16.8	17.0	17.9	18.6	19.0	17.4	18.9	16.5
28年度	109	172	204	224	250	256	289	330	348	345	362	432	3321
	4.2	6.6	7.8	8.6	9.3	9.8	11.1	12.7	13.4	14.4	15.1	16.0	10.8

【参考・29年度 目標利用者数（稼働率）：6,200人（20.0人／日）】

近隣に同業者が多いため事業所の独自性を高めるために、日常生活動作の維持・向上のための個別機能訓練や脳活性化いきいきトレーニング、外出レクや食事レク、おやつレク等、ご利用者の要望に沿った事業を展開し、新規のご利用も増加傾向にあります。

社会福祉法人弥勒会 深草しみずの里 29年度研修会

実施月	法定	日時	テーマ	内容	担当
4月		1日、7日、8日、9日、 18日、25日	新人職員研修 排泄ケア研修・オムツ使用	新人職員向けオリ研修 オムツの適正な使用方法 習得する	ユニチャーム
5月	法定	9日、16日、23日 30日	法人理念・法令順守研修 個人情報保護	法人の理念を職員全員で共通 認識する 介護職員のための法令順守	施設長
6月	法定	6日、13日 20日、27日	ハンドケア・マッサージ 食中毒予防手洗い研修	5月外部研修伝達 梅雨を前に食中毒につ いての研修と感染予防	大内・瀬瀬 感染委員
7月	法定	4日、25日	褥瘡予防・体圧分散 ポジショニングについて	褥瘡ができるメカニズム と予防について学ぶ	近藤リハビリ 主任
8月		1日、8日 22日、29日	看取りについて 高齢者虐待	施設で行った看取りから 学んだこと、振り返りを共 有する 外部研修伝達研修	有馬 フロアー リーダー
9月	法定	5日、12日 19日、26日	介護職員の行える医行為 11項目 介護職員の接遇マナー	介護職員が普段行うこと のできる医療行為につい ての基本を学ぶ 接遇マナーを学ぶ	フロアー リーダー 今村
10月	法定	3日、10日、17日 31日	嚥下、トロミの種類 トロミの作り方	嚥下機能について トロミのつけかたについ て実践で学ぶ	クリニコ フードケア 明治
11月	法定	7日、14日、21日 28日	感染症予防研修 現場で実践レクレーション	インフルエンザ・ノロウィ ルスの知識を身につける レクにひと工夫し笑顔を 増やす	サラヤ 出口職員
12月	法定	5日、12日、19日 26日	身体拘束・高齢者虐待	外部研修伝達研修	渡利 吉村
1月	法定	2日、9日、16日 23日	食事介助と嚥下	安全においしく食事をし ていただくために食事介 助の基本を学ぶ	有馬
2月		6日、13日 20日、27日	福祉用具と移乗介助	入居者にあった福祉用 具の選定と介護職員の 負担にならない移乗介 助	フロンティ ア 依田
3月	法定	6日、13日 20日、27日	認知症を理解し ユニットケアに繋げる 外部研修 研修報告会	認知症ケアを振り返り もう一度ユニットケアの 原点に立ち返る 外部研修に参加した職 員による研修報告・伝達 研修の機会とする	有馬 吉村 今宿

社会福祉法人弥勒会 深草しみずの里 29年度外部研修

日 時	会 場	講 師	内 容	受講職員
平成29年5月18日	資生堂ジャパン株式会社	資生堂	ハンドケアでご利用者とのコミュニケーションを深める	瀬瀬 楓花 大内 玲実
平成29年6月29日	日本生命四条大宮ビル 2階 第一会議室	HOTシステム株式会社 蜂谷 英津子氏	介護職のための 接遇マナー	今村 航
平成29年6月30日	ひとまち交流館 3階	塚本 鋭裕氏	養介護施設従事者等 による高齢者虐待の 防止とその対応	渡利 美咲 吉村 由里可
平成30年10月27日	日本生命四条大宮ビル 2階 第一会議室	野末あけみ氏	現場で実践！ レクレーション	出口 博毅
平成29年11月7日	京都テルサ	日本ユニットケア 推進センター	ユニットケアを 再確認しよう 高齢者施設での 多職種連携	岡山 幸 西田 麻衣
平成29年11月11日 11月25日	日本生命四条大宮ビル 2階 第一会議室	介護老人保健施設 おおよけの里 辻 智典氏	認知症の理解と 実践的な支援	毛利 元泰
12月8日	日本生命四条大宮ビル 2階 第一会議室	京都保育福祉専門学院 岡本 匡弘氏	世代を超えた コミュニケーション技術	澤田 清子
平成30年1月10日	日本生命四条大宮ビル 2階 第一会議室	介護老人保健施設 おおよけの里 竹下 慎哉氏 秦 洋平氏	介護現場の リスクマネジメント	藤本 光洋
平成30年2月2日	日本生命四条大宮ビル 2階 第一会議室	玉井 典子氏	薬の知識	堀田 小夜
2017年度前期	京都テルサ	日本ユニットケア 推進センター	ユニットリーダー研修	今宿 美沙子
2017年度後期	京都テルサ	日本ユニットケア 推進センター	ユニットリーダー研修	吉村 由里可
平成29年6月 ～ 平成30年1月	ハートピア京都	介護支援専門員協会	更新研修課程1 更新研修課程2	下澤 一平

平成29年度 法人本部事業報告

平成29年度は、「いでの里」が建物設備の老朽化に伴う費用増加、「日野しみずの里」が職員定着不安定による稼働率の低下と採用コスト増加、「深草しみずの里」が採用コスト含めた人件費の増加の結果、全施設が目標を達成できず、法人全体として厳しい決算となりました。

また、平成32年度開設予定の久御山町特養については、整備計画用地の交渉、事業内容の変更協議を行うとともに、設計監理業務受託者を決定し、平成30年度はハードソフト両面にわたり着実に進行していく予定であります。

平成30年度は、介護報酬改定に対処しつつ、介護職員の安定を全施設の共通課題として捉え、各施設のその他経営上運営上の課題を収集分析し、改善策等を理事会にご報告しつつ、法人全体及び各事業所の健全経営に努めてまいります。

1. 事業内容

①評議員会の開催

定時評議員会 平成29年 6月24日－平成28年度事業報告・決算、理事・監事の選任等

臨時評議員会 平成29年11月29日－定款の一部変更等

②理事会の開催

第1回理事会 平成29年 4月 1日－理事・監事の選任報告、理事長・理事代理の互選

第2回理事会 平成29年 6月 7日－平成28年度事業報告・決算、理事・監事の選任等

第3回理事会 平成29年 6月24日－理事・監事の選任報告、理事長・副理事長の互選、補正予算

第4回理事会 平成29年 7月31日－空調設備改修工事の契約

第5回理事会 平成29年11月13日－定款の一部変更、諸規程の改正等

第6回理事会 平成29年11月29日－理事長・副理事長の職務執行状況報告

第7回理事会 平成30年 1月30日－空調設備改修工事の契約

第8回理事会 平成30年 3月30日－平成30年度事業計画・予算、諸規程の改正等

③グループ経営会議の開催

毎月1回開催－各事業所の予算達成状況の確認、経営上の問題点の改善等

④ケアフルヴィレッジ伏見しみずの郷経営戦略会議の開催

毎月1回開催－京都リハビリテーション病院・介護老人保健施設深草京しみず・特別養護老人ホーム深草しみずの里の運営課題の検討等

⑤各事業所運営会議の開催

毎月1回開催－各事業所運営上の問題点の改善等

2. 収支について

収入－各拠点区分(いでの里・日野しみずの里・深草しみずの里)からの繰入金収入

支出－役員報酬・兼務職員の人件費等

収支差額－ゼロ

3. 今後の課題

各施設が経営課題に具体的に取り組むことで月次予算を確実に達成し、法人の経営安定に努めてまいります。また、業界共通の課題である介護職員の確保難を前提として教育体制の充実等による職員の定着化を図ります。さらに医療法人清水会との連携を強化し、京都清水メディケアシステムの一員として法人の発展と地域社会への貢献に尽力してまいります。

